

全校の皆さん、こんにちは。

本日で1学期が終了します。新型コロナウイルスの影響で、4月・5月は休校措置がとられ、準備登校、分散登校を経て6月1日に学校が再スタートしました。学校再開時には久しぶりに皆さんの元気な声が校舎に響きました。今までは当たり前と考えていたことが、とても貴重なことであったことを再確認させられました。

登校日数は51日間でした。皆さんの学習や活動の時間を確保していくために夏休みを短縮せざるを得ませんでした。

入学式や始業式、そして6月1日の学校再開の時に、本年度の四中のテーマは「四中プライド～主人公として生きる～」であり、様々なことに、主体的に挑戦していく姿を期待していると話しました。

さて、皆さんは、「自主性」と「主体性」の違いを考えたことがあるでしょうか。二つともよく使われる言葉です。四中では「主体性」を大事にしていますが、その理由を少し話したいと思います。

自主性とは、決められたことに対して率先して行動することです。例えば、掃除の時間に、「イヤイヤ」やるのではなく、決められた分担場所にいち早く移動し、その場をきれいにするために一生懸命に取り組む姿で、物事に対する「やる気」の現れのようなものです。これは、とても大事な心構えであると言えます。

一方、主体性とは、何をすべきか決められていないことを、自分の意思で決断し、行動する姿です。主体的な人の行動は、他人の意見に流されず、また、自らの行動に責任を取ります。相手の気持ちを考え、他の人と協調しながら目的を達成させようとする姿です。その場その時の場面場面で、自分自身が判断をして、自分の考えをもち行動していこうとする0から1を生み出していく力が主体性です。

これからの世の中は、主体性が無くてもできること、つまり指示されたことをやる仕事や決められたことをやる仕事は、どんどんAIが行っていく時代を迎えます。一方で課題を見つけて、必要なものを0から生み出すのは機械ではなく人間しかできないことであり、人としての能力を最大限活かすためにも、主体性が必要なのです。

近年の台風や豪雨災害、新型コロナウイルスの影響等、私たちの身の回りは予測不可能なことが常に起きます。この主体性こそ、これからのどうなっていくか分からない世の中

を生き抜いていくための大事な力だと言えます。

本年度、四中では皆さんが主体的に物事に取組めるように、様々な場面を学校として設定しました。

まず、自分の学習面での課題をいち早く知り、自分の学習の姿を見つめ返し、自分で課題を解決していけるように単元テストと再チャレンジテストを導入しました。1学期は、短時間に授業が凝縮されたこともあって、単元テストに追われて、苦勞を味わった人もいるかと思いますが、自分の足りないことを判断しながら、一つ一つの単元での学習を大切にして積み重ねてきたことは、必ず皆さんの力となっています。夏休み後半以降より、四中アカデミーも始まります。ぜひ、自分の課題を自分の力で解決していこうとする主体性をもち、学力を高めていって欲しいと思います。

また、水曜日の清掃をやめ四中クリエイティブタイムを導入したことで、自分たちの学校を、そして自分たちの活動を自分たちの手でより良いものに創りあげていけるようにしました。1学期は、生徒会が中心となった企画が多かったわけですが、新しいことへ挑戦しようとする生徒会の主体的な取り組みは、とても頼もしく感じるもので、2学期以降がすごく楽しみです。

いよいよ明日から11日間の夏休みになります。新型コロナウイルスの関係で、様々な制限があったり、日数も例年と比べると短くなったりしますが、不要不急の外出を控えつつも、長期休みでしかできない経験や活動にぜひ挑戦をしてみてください。

そして、元気な姿で四中アカデミーや19日の2学期の初日に登校してください。

最後に、新型コロナウイルスは今なお感染の拡大が止まりません。今後、夏休みや2学期以降の日程が大きく変わることがあるかもしれません。

皆さんが混乱しないように夏休み中にメールやホームページにて情報を発信することがあるかもしれませんので対応をお願いします。

また、夏休み中も心配や不安なことがある人もいると思います。遠慮せずに先生方に相談してください。

以上で私の話を終わりにします。よい夏休みにしてください。